

特許調査と特許情報分析のスキルアップポイント講座

近年では、将来有望な技術分野を探るため、また、特許権を取得し他社に対する優位性を確保するために、企業内での特許情報の収集とその活用的重要性が高まっています。その結果、企業内で高品質な特許調査を行う必要性も高くなり、従来知財担当者が行っていた特許調査を、研究・開発者が行う場面も多くなってきました。

しかしながら、検索の基礎を学ばずに調査を行うことは、大変難しく非効率的です。特許という膨大な資料を効率的に調査するには、検索の基礎を学び調査スキルを向上させることが必要になります。

ネットスは、設立から20年以上、特許調査業務に携わり、正確かつスピーディに高品質な調査を企業に提供してまいりました。このネットスの知識を皆様と共有して、調査スキルや情報分析のレベルアップを目指すセミナーを開催いたします。企業の知財担当者のみならず、研究・開発部等の調査に携わる方々の多数のご出席をお待ち致しております。これから調査を始めようと思われる検索初心者にも大変有意義なセミナーです。

【日時】2010年10月20日(水) 14:00~16:30 [質疑応答 16:30~] (受付 13:30~)

【参加費】無料 ※誠に勝手ながら、ご参加は1社につき2名様までとさせていただきます。

【会場】全国町村会館2階 ホールA 東京都千代田区永田町 1-11-35

【お申込み】メール:会社名・氏名・ご参加人数・お支払方法をご連絡ください。⇒ patra@sun-group.co.jp

FAX : 下記にご記入の上、FAXください。

※恐れ入りますが、同業他社様のご参加は、ご遠慮申し上げます。

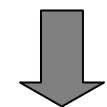
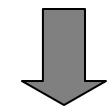
内容

I 準備

～特許調査を行うための準備～

講師 株式会社ネットス 代表マネージャー
田村勝宏

- ・調査会社へどのような依頼がなされるのか (企業が求める情報とは)
- ・入手したい情報とは
- ・公報に記載している項目に入手したい情報を対応させるには(検索式の前準備)



II 進め方

～特許調査の進め方～

講師 株式会社ネットス
田中志帆里
(特許検索競技大会 2009 優勝者)

- ①調査内容(対象、目的など)の理解
- ②検索式の作成
- ③調査・抽出
- ④報告
- ⑤まとめ
- ⑥事例、失敗例

III 活用

～得られた情報の活用～

講師 株式会社ネットス 代表マネージャー
田村勝宏

- ・開発への活用
- ・「障害特許発見」への活用
- ・「特許無効化」への活用

<株式会社パトラ宛 FAX:03-5777-5685>

サン・グループ

藤本昇特許事務所・株式会社ネットス・株式会社パトラ

貴社名:		
部署:	役職:	氏名:
部署:	役職:	氏名:
住所:〒		
TEL:	FAX:	E-mail: